

【3】教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績

3. 幼児保育学科

	教授	准教授	講師	助教	計
男	3	-	1	-	4
女	-	2	1	-	3
計	3	2	2	-	7

2023年5月1日現在の本学専任教員を50音順に記します。記述の項目は次のとおりです。

①専門分野、②主な担当科目、③取得学位・免許・資格、④主な業績（著書、論文、発表、展示、作品、講演会など）、⑤研究分野における実務経験

◆岩野 勝人（教授）

①現代美術 彫刻 造形あそび ワークショップ アートコミュニケーション

②幼児と造型表現、保育内容演習（造形表現A・B）、保育・教職実践演習、造形あそびとワークショップ、保育総合演習（専門ゼミ）、デッサン・造形基礎演習

③修士（芸術学）〔京都市立芸術大学〕

④主な業績

《著書》

- ・ 展覧会図録「めぐりアート静岡 2020」記録集 共著（公立財団法人静岡市文化振興財団発行 2021年3月）
- ・ 展覧会図録「めぐりアート静岡 2019」記録集 共著（公立財団法人静岡市文化振興財団発行 2020年3月）
- ・ 展覧会図録「めぐりアート静岡 2018『4つの会場をめぐり、アートの散策』」共著（国立大学法人静岡大学発行 2019年3月）
- ・ 展覧会図録「めぐりアート静岡 2017『まち/ひと/とき、/むすぶ』」共著（国立大学法人静岡大学発行 2018年2月）
- ・ 展覧会図録「めぐりアート静岡 2016『記憶をめぐり 記憶をつくる』」共著（国立大学法人静岡大学発行 2017年2月）
- ・ 展覧会図録「めぐりアート静岡 2015『ちょっと、ざわざわ、しにいく』」共著（国立大学法人静岡大学発行 2016年3月）

《作品》

- ・ 「かめおか霧の芸術祭・城跡芸術展2022」（2022年10月）
- ・ 個展「岩野勝人展 くもならべ」京都・AIR 南山城村「青い家」（2020年11月～12月）
- ・ めぐりアート静岡「くもならべ ～静岡の空に～」東静岡アート&スポーツ/ヒロバ（2020年11月）
- ・ めぐりアート静岡「青い人」東静岡アート&スポーツ/ヒロバ（2019年10月）※2019年～2021年
- ・ 個展「IWANO MASAHITO IRON`s work」京都・THE TERMINAL KYOTO（2018年7月）

- ・めぐりアート静岡「コンテナ・アートベース」「麒麟・麒麟」「マウンテンゴリラ」東静岡アート&スポーツ/ヒロバ（2018年11月）※2016年～2021年
- ・『岩野勝人・MENTAL CHAIR』静岡市美術館（2016年1月～3月）
- ・『MENTAL CHAIR・HUGE FOOT』京都・瑞雲庵（2015年4月～5月）

《論文・研究・実践ノート》

- ・「保育者養成校の学生における専門演習（造形表現）からの授業提案」池坊短期大学 2022年度教職課程年報（2023年3月）
- ・「公共空間での冒険 アートでつなぐ空間と時間」『池坊文化研究』第2号（2020年3月）
- ・「幼児対象の造形あそびの組立についてーアートワークショップのプログラムの開発及び試行ー」『池坊短期大学紀要』38幼児保育学科完成年度記念（2017年12月）
- ・『『使われてなんぼ』の空間創作ー子どもたちと作る公園イメージの構築ー』『池坊短期大学紀要』38幼児保育学科完成年度記念（2017年12月）
- ・「リズムジャンプ・サーキットによる運動遊び実践ー幼児の健康・体力づくりに関する指導方法の研究ー」『池坊短期大学紀要』38幼児保育学科完成年度記念（2017年12月）
- ・『『美術の現場』としてのワークショップ考』『池坊短期大学紀要』37B（2017年3月）

《その他、社会活動等》

- ・東静岡アート&スポーツ/ヒロバ における地域を巻き込んだ公園作りと子ども達を対象としたワークショップの実施（静岡市「まちは劇場」プロジェクトにおける招聘アーティストとして参画 2016～2021年までの有期プロジェクト）
- ・平成30年度 徳島県中学・高等学校文化連盟美術教育分科会における講演（徳島県教育委員会、徳島県中学・高等学校文化連盟主催 2018年8月）
- ・大原美術館「チルドレンズ・アート・ミュージアム」でのワークショップ講師（社団法人大原美術館主催 2018年8月）※2005年～2019年 15年間毎年実施
- ・平成29年度京都府文化を未来に伝える次世代育み事業「学校・アート・出会いプロジェクト」でのワークショップ講師（京都府文化芸術振興課主幹）※2014年度～2023年度
- ・平成26年度小学校・幼稚園教諭対象 京都府総合教育センター専門研修講習会における講師として講演と実技指導、ワークショップの実施（27年度、28年度にも招聘され実施 主催：京都府総合教育センター）

⑤研究分野における実務経験

- ・彫刻家

◆鵜川 陽子（准教授）

①子育て支援

- ②保育原理、乳児保育A、保育内容総論、子育て支援、保育基礎演習（基礎ゼミ）、保育実習指導（保育所・施設）、保育実習（保育所）、保育所実習指導、保育所実習教育実習（前半・後半）、教育実習指導（前半・後半）

③修士（教育学）[龍谷大学]

- 保育士資格、幼稚園教諭二種免許、中学校教諭一種免許（国語）、高等学校教諭一種免許（国語）、高等学校教諭専修免許（公民）

④主な業績

《論文》

- ・「保育実習指導の在り方に関する一考察」『豊岡短期大学紀要』第14号（2017年12月）
- ・「保育者養成校における地域貢献の事例検討～保育所における子育て支援プログラムの実践から～」『池坊短期大学紀要』第40号（2020年3月）
- ・「保護者支援の知識の深まり～「子育て支援」の学びを通しての意識変化を探る～」『池坊短期大学紀要』第43号（2023年3月）

《研究報告》

- ・「保育実習における学生の学び」—保育実習Ⅱのエピソード記述から—『池坊短期大学紀要』第39号（2019年3月）
- ・「保育実習における学び～エピソード記述より～」『池坊短期大学紀要』第40号（2020年3月）
- ・「保育実習Ⅱにおける保育内容の理解と実践の深まり—保育実習後のエピソード記述より—」『池坊短期大学紀要』第41号（2021年3月）
- ・「保育内容総論における保育内容の理解の深まり—実際の保育現場からの学び—」『2021年度 池坊短期大学教職課程年報』（2022年3月）
- ・「保育者養成に必要な知識と技術—保育マップ記録による試み—」『池坊短期大学紀要』第42号（2022年3月）
- ・「入学前教育の『池のほとり』—入学後の幼児保育学科の学びとの関連—」『池坊短期大学紀要』第42号（2022年3月）
- ・「学生の「保育内容」を理解する視点—子どもの遊び場面の観察を通して—」『2022年度 池坊短期大学教職課程年報』（2023年3月）
- ・「入学前教育の『池のほとり』～建学の精神「和と美」の精神の精神に基づく学び～」『池坊短期大学紀要』第43号（2023年3月）

《発表》

- ・「子育て支援の実態に即した教授方法を探る - 新カリキュラムと乳児を子育て中の保護者の悩みから—」日本保育学会 第72回大会（2019年5月）
- ・「保育者養成におけるが実習目標の達成状況の可視化—三者協働のプロセスシートの活用—」日本保育学会 第73回大会（2020年5月）
- ・「実習を通して理論と実践を結ぶ—実習目標の達成に向けての協働—」日本保育学会 第74回大会（2021年5月）
- ・「保育者養成における「乳児保育」の課題と展望」日本保育学会 第75回大会（2022年5月）

《その他、社会活動等》

- ・京都保育士養成研究会委員（2018年～現在に至る）
- ・全国保育士養成協議会全国大会実行委員（2018年～2019年）

⑤研究分野における実務経験

- ・保育所勤務（保育士）、幼稚園勤務（幼稚園教諭）、児童相談センター（児童指導員）

◆近江 望（講師）

①教育学（体育科教育） 運動あそび 表現あそび

②幼児と健康、保育内容演習（健康の指導A・B）、保育内容演習（身体表現A・B）、
幼児体育、保育総合演習（専門ゼミ）、教育実習指導（前半・後半）、
健康科学とスポーツ、スポーツと健康

③修士（教育学）〔京都教育大学〕

小学校専修免許、中学校教諭一種免許（社会）、高等学校教諭一種免許（社会）、
中学校教諭二種免許（保健体育）、高等学校教諭専修免許（保健体育）

④主な業績

《著書》

- ・『「コンプレクシオンなわとび」を提案する』『体育科教育』第59巻第9号（大修館書店2011年）
- ・「友だちと仲よくなろうなわとびで：『コンプレクシオンなわとび』に学ぶ』『保育問題研究』第276号（新読書社2015年）
- ・「発表作品を目指したリズム系ダンスの指導法～動きのくずしを活用して～」『舞踊教育学研究』第22号（日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部門舞踊研究会2021年）

《論文》

- ・「研究授業を見据えた大学教員の関わりが初任保育者に与える影響 - 授業改善のためのアクションリサーチの一事例 -」『吉備国際大学研究紀要』人文・社会科学系第29号（2019年3月）
- ・「アウトリーチ型地域子育て支援活動への参加学生の学びー未就園児親子への『出前講座（親子ふれあい遊び）』の実践からー」『吉備国際大学研究紀要』人文・社会科学系第29号（2019年3月）
- ・「縄跳びにおける保育者の意識の変容ー運動会発表に向けた取り組みに焦点をあててー」『吉備国際大学研究紀要』人文・社会科学系第31号（2021年3月）
- ・「自由表現への変換に伴う保育者の意識の変容ー運動会発表に向けた取り組みに焦点をあててー」『東海学院大学研究年報』第6号（2021年3月）
- ・「保育の振り返りに向けたICT機器活用の検討ー保育の質の向上への影響についてー」『大谷大学乳幼児教育学会研究紀要』第2号（2022年3月）
- ・「領域『健康』と小学校体育に関する幼小接続の視点からの一考察」『大谷大学教職支援センター研究紀要』第15号（2022年3月）
- ・「幼児の食育活動と保育者による評価の仕方について一考察」『東海学院大学紀要』第16号（2022年12月）
- ・「運動遊びにおけるオンライン双方向型研修のシステム環境についての検討ーオンラインICT機器の留意事項と課題ー」『広島文化学園大学人間健康学研究』第5巻（2022年12月）

《その他、地域貢献活動》

- ・たかはし子育てカレッジ委員（2018年4月～2021年3月）
- ・高梁市すこやかプラン21推進委員会委員（2019年2月～2021年1月）
- ・吉備プレーパーク、日ようび子ども大学、表現発表会、担当者（2018年4月～2021年3月）

⑤研究分野における実務経験

- ・小学校教員

◆桶谷 守 (教授)

①教育学 (生徒指導、不登校、いじめ、教育相談等)

②保育・教職実践演習、現代社会とコミュニケーション

③体育学士 (大阪体育大学)

中学校教諭一種免許 (保健体育)、高等学校教諭二種免許 (保健体育)

④主な業績

《著書》

- ・『教師のコミュニケーション力』共著 2012 明治図書
- ・『生活科・総合的な学習—「体験」を学びに変える—』共著 2013 東京教学社
- ・『教務主任の仕事術2—こんなときどうする?—』共著 2014 教育開発研究所
- ・『生涯学習時代の生徒指導・キャリア教育』編著、共著 2014 教育出版
- ・『現代生徒指導論』共著 2014 学事出版
- ・『教育実習から初任期までの知』編著、共著 2016 教育出版
- ・『教職教養講座「生徒指導・進路指導」』共著 2018 協同出版
- ・学校教育相談の理論・実践事例集「いじめの解明」共著 2022 第一法規
- ・『不登校の理解と支援のためのハンドブック』共著 2022 ミネルヴァ書房

《論文》

- ・「暴力のない学校づくりについて」『暴力のない学校づくり研究会編』文部科学省 (2011)
- ・「調査に協力した生徒たちの思いを再発防止に生かすために」総合教育技術 2013 5月号
- ・「論説 なぜいじめは起こるか」道德教育 2013
- ・「子どもの被害に寄り添い学ぶ—教育行政と第三者機能と教育相談—」
- ・「今日の『いじめ』問題から私たちは何を学ぶのか」
- ・第65回日本教育社会学会 課題研究Ⅱ「大津市立中学校におけるいじめに関する第三者調査委員会」調査から見えてきたもの
- ・東京家政大学附属臨床相談センター紀要第20集「あらためて『いじめ・不登校』を問う
- ・全国日本学士会 ACADEMIA No174 「心と人間環境」特集「子供の被害に寄り添い学ぶ」
- ・「指導における教師の意識改革」月刊生徒指導 2020
- ・「大津いじめ事件から10年」月刊生徒指導 2021

《研究発表》

- ・2010 日本LD学会 自主シンポジウム研究発表「一人ひとりを徹底的に大切にすることとは」
- ・2011 日本生徒指導学会関西地区研究会 研究発表「学校は今どんな課題を抱えているか」
- ・2011 現代教育研究会研修会 研究発表 「変化する子どもを取り巻く状況とその対応」
- ・2011 第10回記念日本教育カウンセリング学会記念シンポジウム「教育への期待～教育改革への行方と教育現場・家族・家庭・地域の諸問題～」研究発表及びシンポジスト
- ・2015 第16回日本生徒指導学会 シンポジウム研究発表「いじめ防止と子どもの主体的活動」
- ・2019 日本生徒指導学会関西研究会「いじめ重大事態における第三者機関の役割と課題を考える」研究発表。
- ・2020 学事出版「指導における教師の意識転換とは」

- ・2020 日本教育新聞「大津市の AI を使ったいじめ分析」
- ・2021 学事出版「大津いじめ事件から 10 年 何がかわったのか？」

《その他、地域貢献活動》

- ・2013 第 32 回鳴門生徒指導学会基調講演「大津いじめ事案の第三者調査委員会の調査を終えて」
- ・2017 独立行政法人教職員支援機構（教員研修センター）講師 副校長研修、「今求められる生徒指導とは」
- ・2017～2017 独立行政法人教職員支援機構（教員研修センター）講師 中堅研修 「今求められる生徒指導とは」「今日的なのいじめ問題をどう考えるか」
- ・2017～2017 独立行政法人教職員支援機構（教員研修センター）講師 生徒指導指導者養成研修「今日的なのいじめ問題をどう考えるか」
- ・2015 日本弁護士連合会研修会 シンポジスト「いじめ問題第三者機関他職種専門職との意見交換」
- ・2016 京都市教育委員会主催「教育実践スキルアップセミナー」『児童生徒、保護者の課題から迫る』
- ・2016～2018 独立行政法人教員研修センター 「いじめの問題に関する指導者養成研修会」 講師「いじめ問題に向けて私たちは」（全国 4 ヶ所）
- ・2016 岡山全県研修 中学校生徒指導主事研修講座 講師 「生徒指導の充実に向けて、生徒指導主事の役割」
- ・2017 京都弁護士会 第 46 回『憲法と人権を考える集い』講演「今、いじめに向き合う」
- ・2017『未来づくり教育フォーラム』講演 「LD等の発達障害のある子どもに焦点をあてた学びと生活の集団づくり」
- ・2017 香川県中堅教員 10 年目研修会講演「生徒指導—いじめ問題から子どもの今を考える—」
- ・2017 京都府私立学校生徒指導研修会 講演 「いじめ、今問われているもの」
- ・2017 浄土宗保護司会・浄土宗教誨師会中央研修会基調講演 「最近のいじめ問題から見えてきたもの」
- ・2017 京都産業大学人権研修会 講演 「今日にいじめ問題から見えてくるもの」
- ・2017 大津市地域女性会リーダー研修会 講演 「人間関係とコミュニケーション」
- ・2018 京都市立学校園長研修会「いじめ問題と危機管理」講演
- ・2019 大津市いじめ事案の AI による分析と予測 有識者会議チームリーダー
- ・2020 文部科学省 『いじめ防止対策協議会』 意見発表
「これまでの重大事態の組織における経験について」「調査組織の在り方に関する意見」
- ・2020 東京家政大学心理臨床センター講演、「改めて問う、いじめ・不登校」
- ・2021 京都教育委員会総合育成支援教育講座「何故いじめは起きる」
- ・2022 国立高専機構「いじめ問題対応研修」「高専の特色に着目したいじめ対応」
- ・2022 京都府人権擁護委員会研修「今、学校で何が起こっているのか？」
- ・2022 奈良高等専門学校「いじめ問題対応研修」「高専の特色に着目したいじめ対応」
- ・2022 岐阜県各務原市教員研修「いじめ問題に関する保護者との連携とは」
- ・2023 文教大学「教職支援センター」開設記念講演「今、改めていじめを問う」

⑤研究分野における実務経験

- ・ 大津市立中学生いじめ自死事案第三者調査委員会委員
- ・ 大津市教育委員会 教育委員、教育委員長、教育長、大津市教育課題アドバイザー
- ・ 京都教育相談総合センター顧問
- ・ 日本生徒指導学会 全国理事、関西研究会副会長
- ・ 公益法人臨床心理士資格認定協会 臨床心理士専門職大学院認証評価委員
- ・ 宝塚市「いじめ問題検証委員」、枚方市「いじめ対策審議会」委員
- ・ 全国高等専門学校機構「いじめ問題」外部監査委員

◆北川 博司（教授）

①子ども家庭ソーシャルワーク、障がい児者福祉、精神保健福祉、公共政策科学、神学

②憲法、社会福祉、社会的養護A、子ども家庭支援論、特別支援教育演習、

保育実習（保育所・施設）、保育実習指導（保育所・施設）、施設実習、施設実習指導、
保育基礎演習（基礎ゼミ）

③修士（社会福祉学）[佛教大学]、修士（神学）[同志社大学]、修士（政策科学）[同志社
大学]

精神保健福祉士、社会福祉士、スクール（学校）ソーシャルワーカー、介護支援専門員、
相談支援専門員、配置型職場適応援助者（ジョブコーチ）、サービス管理責任者（就労分
野）、指定保育士養成施設保育士実習指導者、社会福祉士実習演習担当教員、精神保健福
祉士実習演習担当教員、スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程専門科目群担当教員、
成年後見人、独立型社会福祉士、日本キリスト教団牧師（正教師）

④主な業績

《著書》

- ・ 第20回～第22回精神保健福祉士国家試験問題専門科目解答・解説集 共著 2020年 へる
す出版
- ・ 第19回～第21回精神保健福祉士国家試験問題専門科目解答・解説集 共著 2019年 へる
す出版

《論文》

- ・ 「高等教育機関における特別支援教育コーディネートの可能性ー小・中・高等学校におけ
る特別支援教育コーディネーターの働きを踏まえてー」『池坊文化研究』第5号（2023年
3月）
- ・ 「困難な状況からヒーローズ・ジャーニーが向かうリカバリー（回復）の終着駅ー神話の
法則と12のステップとの関連性に着目してー」『池坊文化研究』第5号（2023年3月）
- ・ 「森永ヒ素ミルク中毒事件被害児救済運動におけるソーシャルワーク実践に関する感情史
研究の可能性」京都華頂大学『現代家政学研究』第11号（2022年3月）

《発表》

- ・ 『精神保健福祉士のSSSW実践の可能性』第10回日本生活支援学会総会・研究大会（埼
玉県さいたま市浦和区）2018年5月
- ・ 『精神保健福祉領域、特に死生領域におけるスピリチュアル・センシティブ・ソシヤル
ワークの可能性』関西パストラルケア研究会第31回研究会（大阪市東淀川区）2019年8

月

《研究報告》

- ・立命館大学社会学研究科博士学位請求論文（甲号）構想発表会 2020年10月
- ・立命館大学社会学研究科研究経過報告会 2019年12月

《その他、社会活動等》

- ・月刊誌『湖畔の声』湖声社 連載「人間到处有青山」2015年9月～連載中
- ・在日外国人の教育を考える会・滋賀事務局長 1996年7月～2002年12月
- ・滋賀県社会福祉士会理事・生涯研修センター運営委員長 2012年7月～2013年6月
- ・社会福祉法人くすのき会理事 2011年1月～2014年3月
- ・社会福祉法人近江兄弟社地塩会評議員 2012年3月～2015年7月
- ・社会福祉法人きぬがさ福祉会評議員 2013年5月～現在に至る
- ・社会福祉法人きぼう評議 2013年6月～現在に至る
- ・特定非営利活動法人近江八幡市手をつなぐ育成会幹事 2014年5月～現在に至る
- ・滋賀県近江八幡市手話施策推進会議会長 2017年2月～現在に至る
- ・岐阜県本巣市自殺対策協議会委員 2018年4月～2021年3月
- ・滋賀県近江八幡市コミュニケーション支援推進会議会長 2021年7月～現在に至る
- ・自殺予防ゲートキーパー研修会講師（岐阜県大垣市・本巣市）2019～2021年
- ・終活およびエンディングノート研修会講師（岐阜県関市）2019～2021年
- ・科学研究費補助金基盤研究（C）『第三者評価事業が社会福祉施設に根づくための実践モデルの形成と有用性の検証』（課題番号：19K02256）』日本学術振興会 2019～2021年 研究分担者

⑤研究分野における実務経験

- ・ソーシャルワーカー（市福祉事務所・隣保館・児童館・医療機関・教育機関）
- ・教員（高等学校・市町村職員研修センター・介護労働安定センター等）

◆谷 芳恵（講師）

①発達心理学、教育心理学

②子どもの心理学、子ども家庭支援の心理学、子ども理解と教育相談、幼児と人間関係、保育内容演習（人間関係A・B）

③博士（学術）[神戸大学]、産業カウンセラー

④主な業績

《著書》

- ・『問題解決！先生の気づきを引き出すコミュニケーションー演じて学ぶコンサルテーション研修ー』ジアース教育新社 共著（2016年3月）
- ・『国立大学法人兵庫教育大学教育実践学叢書3 特別支援教育における地域のトップリーダーを考えるー人材像をふまえた育成プログラム開発に向けてー』ジアース教育新社 分担執筆（2016年10月）

《論文》

- ・「入学前教育の『池のほとり』～建学の精神「和と美」の精神に基づく学び～」『池坊文化研究』5号（2023年3月）共
- ・「保育者養成に必要な知識と技術ー保育マップ記録による試みー」『池坊文化研究』4号（2022年3月）共

- ・「教育実習における学生の自己課題達成について－教育実習指導における取り組みをもとに－」『教育課程年報』10巻（2021年3月）共
- ・「子どもの習い事と母親の育児不安および育児幸福感の関連：母親の就労状態に着目して」『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』13巻 査読付き（2019年9月）共
- ・「都道府県及び政令指定都市教育委員会による特別支援学校のセンター的機能の推進に関する実態及び意識調査」『SNE ジャーナル』24巻 査読付き（2018年10月）共
- ・「教員を対象とする対話型ワークショップ「暗闇のちこ」の効果検証－特別支援学校コーディネーターの「地域支援の進め方」をテーマとして－」『兵庫教育大学発達心理臨床研究』23巻 査読付き（2017年3月）共
- ・「青年の公共空間における社会的迷惑と抑制要因の検討－他者との関係性と状況適合性に着目して－」博士論文（神戸大学）（2014年3月）

《発表》

- ・「チーム支援におけるクラス担任のリーダーシップ－教職経験および特別支援教育経験年数による差の検討－」日本教育心理学会第59回総会（名古屋大学）ポスター発表（2017年10月）単
- ・「発達障害のある子どもへの気づきを促す教員研修・育成について～演劇づくりワークショップによる現職教員と学生の学び～」日本LD学会第24回大会（佐賀大学）自主シンポジウム（2015年10月）
- ・「特別支援教育の地域リーダー像を考える－リーダーシップの要素の収集・分類－」日本教育心理学会第57回総会（新潟大学）ポスター発表（2015年8月）共
- ・「特別支援教育コーディネーターに求められる資質に関する検討－チーム支援におけるメンバーとの関わりに着目して－」日本教育心理学会第56回総会（神戸大学）ポスター発表（2014年11月）単

◆吉田 直子（准教授）

- ①音楽教育、ピアノ指導・演奏、音楽基礎能力養成、保育者養成
- ②保育内容演習（音楽表現A・B）、音楽基礎演習A・B、保育総合演習（専門ゼミ）
- ③修士（音楽教育）〔京都教育大学〕
中学校教諭専修免許（音楽）、高等学校教諭専修免許（音楽）

④主な業績

《著書》

- ・『MINERVA はじめて学ぶ教科教育』第7巻『初等音楽科教育』共著（MINERVA 出版2023年）
- ・『MINERVA はじめて学ぶ教科教育』第7巻『初等音楽科教育』共著（MINERVA 出版2018年）
- ・『おんがく理論』共著 ファウエル・ミュージック・コーポレーション（2022年）
- ・幼稚園教諭・保育士養成課程のためのリズム・譜読み・伴奏づけ・弾き歌いのトレーニング『なんのうたかな？』単著 ファウエル・ミュージック・コーポレーション（2020年改訂）
- ・幼稚園教諭・保育士養成課程のためのリズム・譜読み・伴奏づけ・弾き歌いのトレーニング『なんのうたかな？』単著 ファウエル・ミュージック・コーポレーション（2018年）

《論文》

- ・「初心者のピアノ指導における音楽基礎力の重要性」『池坊文化研究』第4号(2022) p. 43-54
- ・「西洋音楽史から『和』と『美』の教育を考える」『池坊文化研究』第3号(2021)p. 17-24
- ・「子どものうたの音楽分析」『帝塚山大学教育学部紀要』No. 2(2021)p. 50-59 単著
- ・「4歳児の音楽認知の成長」『音楽表現学』No. 18 (2020) p. 33-40 単著 査読付き
- ・「子どもの音楽表現を支援できる保育者育成のための考察」『池坊文化研究』第2号(2020)
- ・「保育者養成校における地域貢献の事例検討」『池坊文化研究』第2号(2020) 共著
- ・「音楽の理解を導く楽譜の学習に関する一考察—記譜の実践・調査を中心に—」 共著『関西楽理研究』第35号(2018) 査読付き
- ・「〈音楽家の耳〉トレーニングを活用した幼児期の音楽基礎教育「聴く活動」に関する研究」 共著 エリザベト音楽大学『研究紀要』第38号 査読付き(2018) 2016-2018年度基盤研究(C)(一般) 科研費共同研究
- ・幼児の音楽表現と“遊び歌”『奈良佐保短期大学研究紀要』特別号 査読付き(2018)
- ・「保育者養成校のピアノ学習プロセスにおける支援—マルカム・ノールズの『アンドラゴジー論』の検討を通して—」『奈良佐保短期大学研究紀要』第24号 査読付き(2017)
- ・「保育者養成課程における初心者のリズム読譜指導」『関西楽理研究』第33号(関西楽理研究会編) 査読付き(2016)
- ・「階名唱指導上の課題2」『京都教育大学教育実践紀要』第15号(2015)
- ・「音楽的要素を感受させる指導の考察—ソルフエージュ指導書『音の世界』から〔共通事項〕の指導法を探る—」『関西楽理研究』第30号(関西楽理研究会編) 査読付き(2013)
- ・「階名唱指導における課題」『京都教育大学教育実践紀要』第13号(京都教育大学実践研究指導センター)(2013)
- ・「教員養成課程の学生が抱える問題の原因についての考察」『関西楽理研究』(関西楽理研究会編) 第29号 査読付き(2012)
- ・「楽譜を見てすぐ歌える力「視唱力」育成の視点」『京都教育大学実践研究紀要』第12号(京都教育大学実践研究指導センター)(2012)
- ・「読譜力と音楽的基礎能力との関連性について—音高イメージを持って楽譜を読むことができるようになるために—」『京都教育大学実践研究紀要』第11号(京都教育大学実践研究指導センター)(2011)
- ・「読譜指導に求められる視点」『関西楽理研究』(関西楽理研究会編) 第27号 査読付き(2010)
- ・「楽譜を見てすぐ歌う力『視唱力』についての意識」『京都教育大学実践研究紀要』第10号(京都教育大学実践研究指導センター)(2010)

《研究報告》

- ・「生きる力に繋がる『表現』の学び」『教職課程年報』2022年度版(2023) pp. 20-25
- ・「コロナ禍におけるピアノ指導—ICT活用の可能性と課題—」『池坊文化研究』第4号(2022)
- ・「音楽基礎力に着目したピアノ指導」①—『池坊文化研究』第1号(2019)
- ・「異なる聴き方に導くこと」『音楽表現学』Vol. 15(2017)
- ・「幼児教育者養成課程における読譜力養成」『学校音楽教育研究』Vol. 20(2016)

《発表》

- ・「子どもの主体的で創造的な音楽表現」関西楽理研究会第192回例会(2023)
- ・「認知と表現の成長の過程」日本音楽教育学会第53回大会(2022)

- ・「音楽の理解を導く楽譜の学習に関する一考察」日本音楽教育学会第50回大会（共同）（2019）
- ・「異なる聴き方に導くこと」日本音楽表現学会第15回大会（2017）
- ・「幼児教育者養成における読譜力養成」日本学校音楽教育実践学会第20回大会（2015）
- ・「幼児教育専攻学生のための視唱指導」日本音楽教育学会第42回大会（2011）

《その他、社会活動等》

- ・日本音楽表現学会第21回平安大会実行委員（2023）
- ・ファミリーコンサート出演 門真ルミエールホール（2022.11）
- ・日本音楽表現学会第20回大会研究サロン/分科会司会報告『音楽表現学』Vol.20（2022）
- ・日本音楽表現学会第20回大会研究サロンチーフリーダー・分科会司会（2022.6）
- ・京都府保育協会保育士キャリアアップ講習（京都府委託事業）研修講師（2021.8）
- ・日本音楽教育学会第51回京都大会実行委員（2020～2021.3）
- ・関西楽理研究会編集委員（2019～2023）（2021～2023.3 編集査読副委員長）
- ・公益財団法人大学コンソーシアム京都 研修企画委員（2019～2021）
- ・公益財団法人大学コンソーシアム京都 テーマ別研修講師（2020、2019）
- ・子育て支援プログラム「みんなで楽しむコンサート」出演（於：山ノ本保育園）（2019）
- ・教員免許状更新講習講師（幼稚園教諭対象）（2017）
- ・ピアノコンサート ゲスト出演 星誕音楽堂（2017）
- ・クリスマスコンサート ゲスト出演 聖公会奈良基督教会（2016）
- ・日本クラシック音楽コンクールピアノ部門 奈良本選審査員（2014、2015）

⑤研究分野における実務経験

- ・高等学校音楽科講師
- ・演奏会出演業績多数（オーケストラ協奏、独奏、伴奏、室内楽他）